

# 吐物・排泄物の処理方法

## あらかじめ準備しておく物品

(複数セット準備しておきましょう)

- ・手袋(2枚)・マスク・エプロン又はガウン(使い捨てできるもの)
- ・拭き取るための布やペーパータオル・古新聞・ビニール袋
- ・次亜塩素酸ナトリウム・専用バケツ・消毒薬入れのペットボトル

便や吐物の処理は、処理をする人自身への感染と施設内への感染拡大を防ぐため、適切な方法で迅速・確実に行う必要があります。

## 処理をする前に

- ① 汚染場所は換気をし、関係者以外の人近づかないようにします。
- ② 時計や指輪等を外し、エプロン・マスク・手袋(2枚)を着用します。
- ③ 嘔吐物をペーパータオル(新聞紙でも可)で覆います。嘔吐者の対応をします。

## 処理のしかた

【消毒液の作り方】 例) 市販の漂白剤(塩素濃度5%の場合)

消毒対象	濃度	希釈方法
便や吐物が付着した床や衣類等	1000ppm 0.1% (50倍)	①500mlのペットボトル1本の水に10ml (ペットボトルのキャップ2杯) ②5Lの水に100ml(漂白剤のキャップ5杯)
食器などの漬けおき、便座、ドアノブ、手すり、床	200ppm 0.02% (250倍)	①500mlのペットボトル1本の水に2ml (ペットボトルのキャップ半杯) ②5Lの水に20ml(漂白剤のキャップ1杯)



- ④ 専用バケツにビニール袋を入れて口を広げておきます。50倍(0.1%)に希釈した次亜塩素酸ナトリウム溶液(消毒液)を入れたビニール袋を準備しておきます。



★消毒薬は1日で使い切りましょう!  
★感染拡大防止の基本は、毎日の清掃(環境整備)です!

- ⑤ ペーパータオル(新聞でも可)で覆った吐物に、50倍(0.1%)に希釈した消毒液をかけ十分に浸します。
- ⑥ 吐物等を布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、静かに拭き取ります。拭き取った布や紙等は、消毒液を入れたビニール袋に入れます。外側の手袋を脱いで入れ、手早く口を縛ります。(注意: 同一面で拭き取ると汚染を広げてしまいます!)



- ⑥ 吐物等が付着していた床とその周囲を、出来るだけ広い範囲ペーパータオルや新聞紙で覆い、消毒液を染み込ませ、10分程度浸します。その後、外側から内側に向かって静かに拭き取ります。拭き取ったペーパータオル等はバケツに捨てます。(注意: 塩素は金属腐食性があるため、拭き取った場所が金属の場合は、約30分後に水拭きをします)
- ⑦ 身に付けていたものは、手袋、エプロン、マスク順に外し、バケツに入れます。手袋は外側に触れないよう注意して外し、マスクは耳ひもをつまんで外します。



- ⑧ すべてバケツ内に入れたら、内側をさわらないようにしてバケツのビニール袋を縛り、所定の場所に捨てます。
- ⑨ 最後に、石けんで十分に手洗いして下さい。

【参考】東京都感染症情報センター